



## 創刊の辭

市長脇田幾松

八尾市が誕生して早や一年、市民の皆さんと相携えまして明るい、住みよい郷土の建設のため努めて参りました。昭和二十四年度を目前に控えまして、更に心を新たにして、市民の皆さんの一層の御協力の下に大八尾市の實現に進んで行きたいと思つて居ります。

平素私は市民の皆様とは親しくお話しを致したいと存じておりますが遂々その機会を失して居りますことは誠に残念に思つて居ります。

平素私は市民の皆様とは親しくお話しを致したいと存じておりますが遂々その機会を失して居りますことは誠に残念に思つて居ります。

本年四月小學校に入學するべき児童は左記の期間に出生したものであります。

自昭和十七年四月二日至昭和十八年四月一日

三月始めに各保護者の御

手元に就學通知書が届きま

すがお互いの御子達で本年

一度を進め、市政の改革す

べき点は大いに改進し、皆

さんには満足していただけた

意見や御希望をお聞きしま

して、八尾市政の民主化に

一步を進め、市政の改革す

べき点は大いに改進し、皆

さんには満足していただけた</

# 本市財政事情について！

これを圖解すれば次の通りである

税

あれ、これ

金

八尾市告示第七號  
昭和二十四年一月二十九日  
八尾市長 藤田 鶴松

地方自治法第二百四十四條の規定に基いて本市財政の  
状況を次の通り公表する

昭和二十三年度財政の現況

昭和二十三年度當初豫算は一般會計四千四百六十五萬

七千二百五十五圓、特別會計三百五十八萬七千六百四

十五圓合計四千八百二十四萬四千九百圓であるが一般

會計豫算は五圓特別會計豫算は四回の追加豫算を合せ

て昭和二十三年十二月末現在では左表の通りである

記帳

昭和二十四年二月二十日

一般會計

特別會計

合計

